

委員	提案・意見要旨	反映(案)
植木康夫	導入施設例に対する意見 (1)豚の熟成肉を提供するフードコート (2)十分な駐車場の確保 (3)国道17号線からの案内の工夫 (4)グリーンツーリズム推進組織及び案内窓口の設置	(1)レストランなどの導入施設の詳細については、ご意見を参考として「整備の方向性・取組方針」を基に事業者との意見交換等を行い内容を決定したいと考えます。 (2)駐車場については、代表的な滞在型の道の駅を参考とし、イベント開催等に対応できる面積を設定し新たに案を作成します。 (3)国道17号線からの案内については、国及び県と協議のうえ適切な案内を検討します。 (4)観光部局、農政部局、地域団体と連携し新たな組織の設置の検討を行います。案内窓口については、事業者意見交換等などにより設置方法について検討します。
中村宏	テーマ④に対する意見 (1)即時性の高く、近隣及び広域に対応した情報発信・受信機能 (2)ライフラインの確保、災害時備蓄、医療機能 (3)大容量、長時間発電設備 (4)消防機能、災害時障害物除却、自動車整備機能	(1)災害時における効果的な情報伝達について先進事例を研究し、本道の駅への導入を検討します。 (2)～(4)ご意見を参考とし既存周辺道の駅との連携を踏まえ、必要な防災機能を検討します。
関根福寿	整備の方向性・取組方針について 7割が地元の利用であるということを踏まえ、取り組み方針の表現について提案 「道の駅では地域活性化の拠点として農業(食)を核にした取り組みを官民連携で進め、地域資源の魅力を伝えるとともに、前橋時間の過ごし方を提案します。」 自由意見 (1)県を代表する道の駅として、県内有名料理並びにB級グルメの提供するフードコート (2)関連イベントの開催による地域内外の交流の場を構築	道の駅において交流人口を増やし、市全体の地域活性化に繋げることは、全てのテーマに関わる重要なものと考えております。特に、テーマ③の取り組み結果として促進されるものと考えております。整備の方向性・取組方針では、地域活性化(効果)に繋がる、取り組みを容易にイメージできる表現としました。 (1)導入施設の詳細については、ご意見を参考として「整備の方向性・取組方針」を基に事業者との意見交換等を行い内容を決定したいと考えます。 (2)イベント開催など開業後の運営方針についても、取組方針に沿って展開できるよう、事前に検討を行います。

委員	提案・意見要旨	反映(案)
平形敦史	<p>(1)前橋市における観光ランドマーク的施設の設置 (2)観光客誘致においてシニア世代に加え子育て世代が集える施設計画 (3)ソフト面において柔軟に方針転換の出来るハード計画</p>	<p>(1)本市においても観光におけるランドマークとなるような道の駅を目指しております。そのために来場の動機となる道の駅の「核」について、更に検討させて頂きたいと思っております。 (2)多様な世代がそれぞれが目的を持って来場できるような仕組みづくりについて、地域団体等の意見を参考に検討します。 (3)成功している先進事例においても、開業後の状況に応じた転換やリニューアルを行っております。本道の駅においては、多目的に利用できるスペースを拡充することにより多様なニーズに柔軟に対応できる計画を検討します。</p>
狩野亮一	<p>ターゲットや道の駅の位置付けを明確化するため、取り組み方針の表現について提案 「都市と地方をつなぐ、発信・交流・連携拠点として官民一体で取り組みを進めます。」</p>	<p>提案内容の趣旨については、道の駅において重要な要素であることから、整備の方向性・取組方針におけるテーマ③の中で表現したいと考えます。 但し、交流については、都市と地方のみではなく、前橋市内における地区間も想定している為、「都市と農村」という表現にさせていただきたいと考えます。 表現例 地域の文化活動や多様な市民活動をとおして、地域内外(都市と農村)の人々が集い交流する場を提供。</p>
高坂欣一	<p>(1)T-1グランプリ受賞メニューの提供 (2)県前橋合同庁舎(災害時備蓄倉庫あり)との連携</p>	<p>(1)導入施設の詳細については、ご意見を参考として「整備の方向性・取組方針」を基に事業者との意見交換等を行い内容を決定したいと考えます。 (2)近隣の施設や道の駅との連携を前提として、必要な防災機能、施設を選定、またそれをういた防災啓発の取り組みを検討します。</p>

委員	提案・意見要旨	反映(案)
藤野隆司	<p>(1)地域ブランドとして、「あかぎ野」を提案 赤城山及び周辺地域の自然、歴史、文化、農畜産物、食、観光、その他この地域から生まれてくるものを統合</p> <p>(2)テーマとして「あかぎ野」を取り入れたものにする</p> <p>(3)導入施設の提案 ・あかぎ野マルシェ、健康きのこランド、とんとんワンダーランド、あかぎ野うまいもん街、マエバシシルク</p>	<p>(1)前回会議において、各委員の意見より、前橋における、「赤城」の重要性について再認識しました。整備の方向性・取組方針のなかで「赤城」を全面に出すこととして検討します。</p> <p>(2)将来的にこの道の駅を核として「赤城」を用いたブランドを創出していく方向性として検討していますが、現時点では「赤城＝前橋」の印象ができていない状況では無い為、具体的な取り組みを理解していただく為、テーマの中では「前橋の〇〇」として、表現したいと考えます。</p> <p>(3)導入施設の詳細については、ご意見を参考として「整備の方向性・取組方針」を基に事業者との意見交換等を行い内容を決定したいと考えます。</p>
相澤克也	<p>整備の方向性について 一般的な道の駅のようなマンネリ化したお土産ブースではなく、斬新な観光物産コーナー 前橋観光コンベンション協会と提携し、前橋の観光、物産、案内所を併設した拠点を提案</p>	<p>物産についてはその商品の材料や生産過程などの背景を含め、より商品の価値を高めるような販売を検討しています。その為の、担い手の発掘や商品開発について、前橋観光コンベンション協会を含め各種団体の協力を頂きたいと考えています。</p>
浪川桂一郎	<p>自由意見 お月見のできる名月観覧ベースの設置</p> <p>(1)「集客機能」と「課金機能(消費機能)」を明確化による運営想定 (2)収益施設での収入による維持管理の検討 (3)周辺小売店との機能の棲み分け (4)開業後の機能の付加・変更などを見据えた将来展望 (5)農畜産物直売所の仕入れ確保の検討 (6)地域産業育成のための出店テナントの設定</p>	<p>ご意見を参考として施設の配置や設計と合わせて検討します。</p> <p>(1)(2)今後行う、整備運営手法の決定における導入可能性調査において、検討を行います。</p> <p>(3)地域の商業環境を把握し、相乗効果が図られるよう検討します。</p> <p>(4)先進的な成功事例においては、状況に応じた転換やリニューアルが随時行われています。その為、本道の駅においても、柔軟な転換ができるような施設(建物)計画を検討します。</p> <p>(5)既存の直売施設との調整を図りながら農畜産物を安定して確保できるように検討を行います。</p> <p>(6)他施設の利用状況やニーズなどを把握し導入を検討します。</p>

委員	提案・意見要旨	反映(案)
小林善紀	<p>整備の方向性・取組方針について 取り組み方針については基本的にはOK (1)「TONTONのまち前橋」、「赤城の恵」及び「赤城山」を磨き発信することにより、「赤城山ツーリズム」のプラットフォームとしての場 (2)交流・体験機能の強化 (3)スポーツ体験施設不要 (4)二輪車ツーリストへ配慮した設備 (5)道の駅近隣の細かい天気予報の発信 (6)障害者に配慮した設備 (7)田園に映える外観 (8)赤城山周辺への周遊のガイドランスセンター機能</p>	<p>(1)前回会議において、各委員の意見より、前橋における、「豚」と「赤城山」の重要性について再認識しました。観光部局、農政部局と連携し、道の駅における展開を検討します。また、赤城山をはじめとする前橋の観光についての発信方法についても先進事例等を参考にして研究して参ります。 (2)地域間交流や交流人口の増加の観点から、交流・体験機能は重要であると考えています。その中で、実際に何を行うかについては、地域団体や関連事業者との意見交換を行いながら検討します。 (3)多様な世代が集う事を考えた場合、若年層の来場の動機となり得るスポーツ体験施設等は有効であると考えております。しかし、実際にどのようなスポーツがどの位の需要があるかなどの更なる精査が必要であることから、運営事業者等の意見交換から導入について検討したいと考えています。 (4)自動車以外の来場(公共交通機関、バイク、自転車)を踏まえた、施設計画を検討します。 (5)情報発信の方法や内容については施設整備と併せ検討したいと考えます。 (6)施設整備において障害者の方を含め多様な方が、利用しやすい施設を検討します。 (7)施設のデザイン等については、ご意見を参考として施設設計において広く意見を聞きながら決定プロセスを含め検討したいと考えます。(公募や有識者からの意見聴取など) (8)道の駅における観光情報の発信方法について、施設運営を含めて検討します。</p>
	<p>自由意見 (1)新しいことを継続的に発信する仕組みと仕掛けが必要 (2)DMOを視野にいれ、対応可能な人材の発掘に着手すべき</p>	<p>(1)状況に合わせて柔軟な転換ができるような施設計画を検討します。 (2)整備運営手法の選定において、DMOも含め検討します。</p>

委員	提案・意見要旨	反映(案)
南繁芳	<p>テーマ① →前橋市の農産物の魅力を伝える発信拠点となっており、良い取り組み</p> <p>(1)地産レストランやBBQ施設による前橋産食材を使った「新メニュー」「新しい食し方」の提案 (2)農産物直売所における、取扱い食材による「お勧めレシピ」の提案</p> <p>テーマ② →前橋市らしい体験型観光を提供するというコンセプトに合致 (3)レンタルサイクルについては、利用客の安全確保のため「お勧めコース」の設定やコース整備の検討も必要</p> <p>テーマ③ →既存ユーザーに加え新規ユーザーの発掘にも資するコンセプト (4)図書館や放送局は「前橋のことは何でも分かる」様な施設とすれば、地域内外の利用者の満足度が上がり、リピーター増加</p> <p>テーマ④ →必須機能である (5)故障車両の修理機能は、旅先でのトラブル対処として心強い (6)再生可能、自然エネルギーを利用した発電設備は、災害発生時の避難施設として必須</p>	<p>(1)(2)導入施設の詳細については、ご意見を参考として「整備の方向性・取組方針」を基に事業者との意見交換等を行い内容を決定したいと考えます。</p> <p>(3)自転車を用いた取り組みについては、観光振興、スポーツ振興部局と連携し、検討したいと思います。</p> <p>(4)情報発信は道の駅の基幹機能であります。提供の方法や内容について、地域ニーズの把握や先進事例を研究することにより有効な方法を検討します。</p> <p>(5)(6)故障車両修理機能や防災機能については、近隣施設との連携を前提として関係機関、事業者との調整のうえ、導入施設を決定したいと考えます。</p>

委員	提案・意見要旨	反映(案)
湯川克明	<p>整備の方向性・取組方針について</p> <p>(1)コンセプト:地域とともに作る個性豊かな賑わいの場</p> <p>(2)名称:赤城山麓ころんとんランド(トントンランド)</p> <p>(3)豚(TONTON、ころとん)に特化したテーマパーク</p> <p>(4)スタッフのコスチュームの工夫</p> <p>(5)食や豚に関するイベントの開催・マンネリ化しない工夫</p> <p>(6)核となるメインテーマの設定で大きく成功の道が変わる。どんな施設を導入するかより、どんな道の駅にするか、したいかが重要</p> <p>(7)導入施設に関しては十人十色なので、必要かつ集客が見込める施設を、上位から決めればよい(どの施設もそれなりに集客に繋がるので、あまり大差はない)</p> <p>(8)自転車を取り入れた企画等</p>	<p>(1)～(6)前回会議の委員意見より、前橋における「豚」と「赤城山」のブランド力や重要性について再認識しました。道の駅における主要部分と捉え、観光部局、農政部局と調整を図ると共に、事業者との意見交換を行いながら、ご意見を参考として導入施設の詳細を検討したいと考えます。</p> <p>(7)導入施設については、導入可能性調査などを通し事業者の採算性、行政の財政負担などの観点からも検討を行う予定です。</p> <p>(8)自転車を用いた取り組みは前橋の重要施策の一つであることから、本道の駅においても、関係機能の導入を検討しています。具体的な機能や企画については、自転車愛好家や事業者との意見交換を行ないながら検討したいと考えております。</p>
	<p>自由意見</p> <p>(1)スタッフのコスチュームの工夫</p> <p>(2)平日:地元利用、終末:イベント</p> <p>(3)イベントを通じた口コミ(SNS)の拡散</p> <p>(4)全国からの出店など、定期的な入れ替えの仕組み</p> <p>(5)自転車やドローンなどの活動のベースキャンプ</p> <p>(6)自転車を取り入れた回遊(スタンプラリー等)</p> <p>(7)農園を併設し、販売や調理、食事ができる施設(BBQ)</p> <p>(8)近隣道の駅(前橋の3駅、おおた)の視察からの意見 立地条件等から「おおた」のような道の駅を目指すべき(屋台形式など賑わい感あり)</p> <p>上武道路は交通上道の駅に止まらせるためにインパクトが必要 「おおた」と比較した場合、駐車場台数少ない</p>	<p>(1)～(4)(7)開業後の運営やイベント等の仕組みについては、ご意見を参考として、「整備の方向性・取組方針」を基に、事業者との意見交換を行ないながら検討したいと考えます。</p> <p>(5)(6)自転車と用いた取り組み等は前橋の重要施策の一つであることから、本道の駅においても、関係機能の導入や事業展開を検討しています。具体的な機能や企画については、自転車愛好家や事業者との意見交換を行ないながら検討したいと考えます。</p> <p>(8)駐車場については、代表的な滞在型の道の駅を参考とし、イベント開催等に対応できる面積を設定し新たに案を作成します。</p>

委員	提案・意見要旨	反映(案)
飯塚伸彦	<p>(1)通行車両にインパクトのある構造物が必要</p> <p>(2)敷地内の水路、遊歩道の整備</p> <p>(3)敷島公園、バラ園、武道館、テニスコートとの連携</p> <p>(4)小型観光バスやサイクリングの発着拠点としての利用</p>	<p>(1)施設のデザイン等については、ご意見を参考として施設設計において広く意見を聞きながら決定プロセスを含め検討したいと考えます。(公募や有識者からの意見聴取など)</p> <p>(2)水路、歩道整備についてはライフラインの検討など基本設計と合わせて検討します。</p> <p>(3)各種近隣施設との連携方法については、関係機関と調整のうえ前橋市の魅力を発信する効果的な手法を検討したいと考えます。</p> <p>(4)小型観光バスやサイクリングの発着拠点については、担い手となる可能性のある事業者等と意見交換を行い、実現の可能性について検討します。</p>
青木朱美	<p>整備の方向性・取組方針について</p> <p>(1)テーマ①について 前橋市の良好な農業環境を活かした農作物の宣伝が必要。 将来的にハウスと融合し農業体験、加工体験への展開を希望</p> <p>(2)テーマ②について 各種交通で自然、文化などスローシティライフを楽しめるスタート地点となるような整備</p> <p>(3)テーマ③について ドライバーや多くの人が集い交流する場(イベントや体験教室の開催)</p> <p>(4)テーマ④について 災害時に避難、防災拠点として市民に安心を与えられる場所造り</p> <p>自由意見</p> <p>(1)ドライバーにやさしく、女性にワクワク感を持たせるような場所を希望</p> <p>(2)集客力のある花木の取り入れの検討(フラワーパークとの連携)</p>	<p>(1)前橋の魅力である「農業」について、この道の駅を用いた有効なPR方法を農政部局と連携し、検討したいと考えます。また、各種体験については、ご意見を参考として、事業者との意見交換を行いながら、決定したいと考えます。</p> <p>(2)自転車の活用など前橋が力を入れる取組との連携や、バスなどの交通を用いた観光など、観光部局と連携し、事業者との意見交換を行いながら、検討したいと考えます。</p> <p>(3)整備の方向性・取組方針に基づき、具体的な交流施設やイベント等について事業者との意見交換をしながら検討したいと考えます。</p> <p>(4)近隣施設との連携を前提として関係機関、事業者との調整のうえ、導入施設を決定したいと考えます。</p> <p>(1)道路休憩施設として、ドライバー目線での計画作成が重要であると考えますが、加えて、女性目線での計画作成も必要であると考えます。導入する機能や施設だけではなく、デザインや配置などにおいても、効果的に女性からのご意見を頂く方法を検討したいと考えます。</p> <p>(2)道の駅の整備(開発行為)においては必ず、緑地の整備が必要となります。維持管理等踏まえ、有効な整備計画を作成するとともに、フラワーパークや千本桜など市内観光地へ、来訪者を案内する方法について、事業者等との意見交換を行いながら検討したいと考えます。</p>

委員	提案・意見要旨	反映(案)
伊能良雄	<p>整備の方向性・取組方針について</p> <p>(1)農業体験、収穫体験、自然体験などの体験型ツーリズムを通じた、自然、農業、食、観光の交流</p> <p>(2)前橋産農畜産物を堪能できるようにビュッフェスタイルのラストラン</p> <p>(3)上武道路からの見え方を考慮した施設や配置</p> <p>自由意見 赤城山の四季を通じて、農業体験、ものづくり体験、自然体験等の実施と併せ、道の駅に宿泊施設をもうけ、滞在型ツーリズム実践の場としての整備</p>	<p>(1)観光部局、農政部局と連携し、新たな体験型ツーリズムを検討するとともに、それを用いた、前橋の魅力発信の手法について検討します。</p> <p>(2)導入施設の詳細については、ご意見を参考として「整備の方向性・取組方針」を基に事業者との意見交換等を行い内容を決定したいと考えます。</p> <p>(3)施設の配置やデザイン等については、ご意見を参考として施設設計において広く意見を聞きながら決定プロセスを含め検討したいと考えます。(公募や有識者からの意見聴取など)</p> <p>各種体験機能については、その担い手となることができる運営者の発掘等を含め検討を行います。</p>
長谷川恵理子	<p>(1)前橋市は多彩な農畜産物に富んでいる為、観光集客の核とすべきものが絞り込めない。 →メインテーマを他業種として農業をサブテーマとする道の駅コンセプトを提案</p> <p>(2)流通業者との連携による「農産物物流施設」の整備を希望</p> <p>(3)公共交通機関やタクシーをはじめとした大型ステーション施設の設置を提案</p> <p>(4)最大規模の駐車場の確保</p>	<p>(1)本市としては強みと考える「農業」については前面に出した形で整備を進めたいと考えています。しかしながら、ご指摘のとおり、具体的なものとして絞り込めていない状況であり、その選定や発掘が課題であります。継続して関係事業者との意見交換などを行いながら絞り込みを行うと共に、自転車の取り組みなど「農業」以外の分野における補完も検討したいと考えます。</p> <p>(2)農産物物流施設については、開発の可能性、地域の需要、供給者等について事業者との意見交換を行いながら導入を検討します。</p> <p>(3)自動車以外の来場(公共交通機関、バイク、自転車)を踏まえた、施設計画を検討します。</p> <p>(4)駐車場については、代表的な滞在型の道の駅を参考とし、イベント開催等に対応できる面積を設定し新たに案を作成します。</p>

委員	提案・意見要旨	反映(案)
角田勉	<p>基本理念</p> <p>(1)市民及び全国に対して前橋市を売り込み、再認識させる機能・内容とし、前橋市民の共通のシンボルになる施設</p> <p>(2)市民協働で作る道の駅として「官と民」の表現は不適切</p> <p>(3)「農」+「食」+「健康づくり」を基本テーマとする</p> <p>(4)建物はユニバーサルデザインとし、養蚕農家造りを模し、前橋らしさを出し意匠性だけの建物にしない</p> <p>(5)ソフトとハードの両面でリピーターと共に成長していく未来計画を策定し、用地を確保</p> <p>(6)既存の周辺の道の駅に無い機能を考えて差別化し、競合を避けてお互いが発展する</p> <p>(7)来訪者を生産者・現地・施設などに誘導するシステム</p> <p>(8)施設、機能はシンプルがベスト</p> <p>(9)進入路、出入り、移動のしやすさを確保</p>	<p>(1)売り込みについて観光部局、農政部局並びに、地域団体と連携して有効な方法を検討したいと考えます。</p> <p>(2)本道の駅においては、多様な人が活躍する場として、行政と民間(企業、市民等)が協働で取り組むことができる仕組みを構築したいと考えています。また、整備における財政負担の軽減や、民間ノウハウの導入による効果的な運営の観点から、官民連携で取り組みを進める必要があるものと考えます。</p> <p>(3)「健康づくり」についても本市における重要なテーマであると考えます。テーマ②を含めて、事業者との意見交換などを行いながら、本道の駅での具体的な取り組みについて検討します。</p> <p>(4)施設のデザイン等については、ご意見を参考として施設設計において広く意見を聞きながら決定プロセスを含め検討したいと考えます。(公募や有識者からの意見聴取など)</p> <p>(5)成功している先進事例においても、開業後の状況に応じた転換やリニューアルを行っております。本道の駅においては、多目的に利用できるスペースを拡充することにより将来的なニーズに柔軟に対応できるような計画を検討します</p> <p>(6)既存道の駅の運営関係事業者との意見交換を行いながら、機能の棲み分けや連携手法について検討します。</p> <p>(7)(8)導入施設の詳細については、ご意見を参考として「整備の方向性・取組方針」を基に事業者との意見交換等を行い内容を決定します。</p> <p>(9)防災的な観点や地域の利便性を勘案し、上武道路からの出入りのみだけでなく、別ルートからのアクセスできる道路も必要であると考えます。</p>
	<p>商品、販売、運営などについて</p> <p>(1)扱う商品は可能な限り前橋に限定し、拡大しても県内産または前橋と繋がりが明確な商品とし、地域産業の活性化につなげる</p> <p>(2)大口業者に丸投げしない</p> <p>(3)スーパー化せずに「無いものは無い」と言える勇気を持つ</p> <p>(4)各部門は勿論だが、商品開発を推進、統括する部署を設置し、店長権限の独立を確保</p> <p>(5)配送機能を持ち集荷と学校等、買い物難民、インショップなどに外売りする</p>	<p>(1)(3)物販に関しては、その商品の材料や生産過程などの背景を含め、より商品の価値を高めるような販売を検討しています。</p> <p>(2)各施設毎との整備運営手法を検討する中で、内容や規模に応じて適切な運営形態を選定します。</p> <p>(4)整備運営手法の選定と共に運営体制について検討します。</p> <p>(5)ご意見を参考として「整備の方向性・取組方針」を基に事業者との意見交換を行いながら、導入を検討します。</p>
	<p>自由意見</p> <p>整備の方向性・取組方針について、全体的に形容詞や副詞が多く、読みにくく、訴求力にかける。もっと核心を訴えるべき。</p>	<p>今回、委員の皆様等からのご意見を参考に「整備の方向性・取組方針」について、一部修正を行いました。</p>

委員	提案・意見要旨	反映(案)
中島利郎	<p>(1)群馬県内の農業学校産の農作物を扱う「ぐんまの農業学校直売所」</p> <p>(2)体験農園・農場などの農業体験施設</p> <p>(3)農業学校の教育施設(実習施設等)</p>	<p>(1)～(3)本道の駅については、整備の方向性・取組方針(案)に示したように、「農業」を重要な部分として、検討を進めており、その魅力の発信や農業生産者の育成などの観点からの取り組みも必要であると考えます。</p> <p>そのための具体的な施設については、「整備の方向性・取組方針」を基に中央カレッジグループ様を含む関係事業者様等との意見交換を行ないながら、導入を検討します。</p>
韓亜由美	<p>整備の方向性・取組方針について</p> <p>(1)全体的に抽象的でコンセプトが弱い(ターゲットや目的等の具体的な設定が必要)</p> <p>(2)交流ラウンジ、多目的スペース、スポーツ体験スペース等は具体的なプログラムを決めて計画し本当に必要か議論すべき</p> <p>(3)情報発信機能にあげられている項目は行政が望む言葉上の要件が並ぶだけであり、単に直接的に設定するだけにとどまらないようにすることが大事。利用者にとって魅力あるコンテンツの検討が優先事項</p> <p>(4)テーマ①について 「ここにしかない食」＝「豚肉に特化」は無理がある。すぐに消費されがちなサイクルの短いイメージに頼るよりも、もっと継続的なテーマとすべき(健康食＝医食同源、食育、無農薬有機等)</p> <p>(5)テーマ②について スローシティライフに付随するプログラムや空間整備の内容の充実が望まれる。 自転車、散策等の取り組みについては自転車レーンや歩行者散策道の整備が必要</p> <p>(6)テーマ③について 市民活動の拠点として活用できることは良い。若い世代の市民の企画による文化的イベントが開催できるようなスペース</p> <p>自由意見 45daysや日常的な様々な企画の受け皿をこの道の駅に設定し、「市民による市民のための道の駅」という独自性を提案 市民が日常的に通う機能の設定などから、市民の評判を確立することにより、外へ波及していくシナリオ</p>	<p>(1)今回、委員の皆様等からのご意見を参考に「整備の方向性・取組方針」について、一部修正を行いました。</p> <p>(2)各施設の詳細(導入施設)については、ご意見を参考として「整備の方向性・取組方針」を基に事業者との意見交換を行ないながら内容を決定したいと考えます。</p> <p>(3)ご指摘のとおり情報発信については、その内容(コンテンツ)が重要と考えます。利用者が真に求める情報を把握し、効果的な提供方法と共に検討したいと考えます。</p> <p>(4)客観的な資料より「農業」や「食」は前橋の強みであることが言えますが、今年度実施したマーケティング調査により、その事実が地区内外共に知られていないことがわかりました。また、前回会議において前橋における「豚肉」の重要性についてのご意見も頂いており、本道の駅においては、豚肉をはじめとする前橋の魅力を積極的にPRする取組が必要であると考えます。更にそれらを使った取組として健康食や食育などに発展できるように検討したいと考えます。</p> <p>(5)施設の内容と併せて、そこでの取り組み(プログラム)が重要と考えます。ご意見を参考として、地域のニーズに合ったプログラムを検討します。また、自転車道、散策道の整備については、道の駅での取り組みの沿って有効な整備を、観光部局、道路部局と共に検討したいと考えます。</p> <p>(6)ご提案のとおり、多様な市民活動を取り込むことにより、若年層の来場の動機となり、道の駅全体の賑わいの創出となると考えます。地域団体等と意見交換を行ないながら、地域活動に有効な施設について検討を行いたいと考えます。</p> <p>前橋における多様な市民活動の高まりを組み込むことにより、テーマ③のとおり多様な人が遊び、交流、活躍できる場を創出したいと考えます。</p>

委員	提案・意見要旨	反映(案)
兼本雅章	<p>整備の方向性・取組方針について</p> <p>(1)経営感覚のある人材の登用の必要性</p> <p>(2)道の駅の軸となるものの選定、又は作成</p> <p>(3)「赤城山周辺」という広域的な施策の検討</p> <p>(4)近隣や地元利用者を取り込む工夫</p> <p>自由意見</p> <p>(1)「これといった特徴のない」という課題を強みに転換するための、実験の場</p> <p>(2)配置図の案は利用しづらい印象</p>	<p>(1)事業者との意見交換や導入可能性調査を行いながら、適切な選定方法を検討します。</p> <p>(2)観光部局、農林部局との連携を図り、事業者との意見交換を行いながら、軸となるものの選定及び作成を行いたいと考えます。</p> <p>(3)「赤城山」というイメージを活用するような整備の方向性としてします。</p> <p>(4)ご意見を参考として、地域のニーズ把握や事業者との意見交換を行いながら、地元利用者を対象とした運営手法や施設内容について検討します。</p> <p>(1)前橋ならではの印象を新たに作る取り組みについて各種団体や関係事業者との意見交換を行いながら検討したいと考えます。</p> <p>(2)今回提示した配置については、上武道路からの入場を行う場合の立地的な条件から作成しております。今後、具体的な導入施設が決定した段階で、それぞれの利用形態に応じた配置を検討します。</p>
角田雄二	<p>(1)資料7のB案を希望</p> <p>(2)近隣住民の利用に配慮したアクセス道路整備を希望</p> <p>(3)「全国モデル道の駅」「重点道の駅」になるような施設</p> <p>(4)前橋市の農畜産物をブランド化し、地区内外へ発信</p> <p>(5)道路休憩だけではなく多世代が気軽に安心して利用できる施設</p> <p>(6)過去の事例を参考とした防災復旧機能の検討及び大型車両の整備機能の検討</p> <p>(7)官民一体となった防災訓練を兼ねたイベントの開催</p> <p>(8)3～4年ごとの再投資による施設の更新</p> <p>(9)体験機能について地域住民がボランティアで協力できる仕組みづくり</p>	<p>(1)現時点ではB案に近い形で計画を進めたいと考えています。今後は、事業者との意見交換を踏まえ、導入施設を決定し、面積等を確定する予定で考えています。</p> <p>(2)防災的な観点や地域の利便性を勘案し、上武道路からの出入りのみだけでなく、別ルートからのアクセスできる道路も必要であると考えます。</p> <p>(3)国土交通省の「重点道の駅」制度は取組の先駆性、効果、実現可能性に基づき、優れた企画を国土交通大臣が選定するものです。「重点道の駅」に選定されると国からの重点的な支援が受けられることから、本市においても当該道の駅に選定されるような取り組みを提案したいと考えます。</p> <p>(4)本道の駅を中心として、農政部局と連携したブランド化、発信方法について検討します。</p> <p>(5)整備の方向性・取組方針を基に多世代が集える施設の選定を行います。</p> <p>(6)(7)近隣の施設や道の駅との連携を前提として、必要な防災機能、施設を選定、またそれを用いた防災啓発の取り組みを検討します。</p> <p>(8)基本的には開業後の短期間での大規模な投資・改修は難しいものと考えます。大規模なリニューアルが早期に必要なならないよう長期的な計画作成と、状況に応じ財政負担が少なく機能転換できるような施設整備計画を検討します。(多目的に利用できるスペースを充実させ、そこで、柔軟に機能転換ができるなど)</p> <p>(9)地域が主体的に参画できるような体験機能を地域と共に研究したいと考えます。</p>